

一 ○をつけて、正しいことわざを完成させましょう。

(10点×9問)

点

- (1) ねじじい () しんじゆ () 小ばん ()
- (2) () ちる () ・ 鳥 () も木から落ちる
- (3) 頭かくして () しり () ・ 足 () かくさず
- (4) 急がば () 走れ () ・ 回れ ()
- (5) かつぱの川 () 流れ () ・ 泳ぎ ()
- (6) () 二階 () ・ 天 () から目薬
- (7) 泣きっ面 () 蚊 () ・ 蜂 ()
- (8) 石の上にも () 三年 () ・ 十年 ()
- (9) 花より () まんじゆ () ・ 団子 ()



生きていくうえでのちえや教えを、
短い言葉や言い回しで表したものを
「ことわざ」と言うよ。意味は国語
辞典で調べてみよう

二 次のことわざの意味を国語辞典で調べましょう。(10点×1問)

(1) 失敗は成功のもと

(例) 失敗すれば、その原いんを反省し、方法や欠点を改めるので、その後の成功につながることになる。

一 ○をつけて、正しいことわざを完成させましょう。

(10点×9問)

点

(1) 馬の耳に (ねん仏) ・ お経 ()

(2) 石橋を (たたいて) ・ ゆっくり (わたる)

(3) たなから (おはぎ) ・ ぼたもち ()

(4) (薬) ・ 良薬 (は口に苦し)

(5) (一) ・ 話 (を聞いて十を知る)

(6) やけ石に (お湯) ・ 水 ()

(7) わたりに (ふね) ・ 橋 ()

(8) (火) ・ なべ (に油をそそぐ)

(9) ぬかに (ねじ) ・ くぎ ()

二次のことわざの意味を国語辞典で調べましょう。(10点×1問)

(1) なさけは人のためならず

人に親切にすると、その相手のためになるだけではなく、
やがてよいむくいとなって自分にもむくいてくる。



生きていくうえでのちえや教えを、
短い言葉や言い回しで表したものを
「ことわざ」と言うよ。意味は国語
辞典で調べてみよう。

1 次の言葉をローマ字で書きましょう。



(10点×10問)

点

(1) こめ

kome

(2) りか

rika

(3) わに

wani

(4) あじ

azi(aji)

(5) らくだ

rakuda

(6) はさみ

hasami

(7) ゴリラ

gorira

(8) パソコン

pasokon

(9) ふでばこ

hudebako

(10) ブラウス

burausu

(fudebako)

1 次の言葉をローマ字で書きましょう。



(10点×10問)

点

(1) にっき

nikki

(2) きて

kitte

(3) サッカー

sakkâ

(4) あさって

asatte

(5) がっこう

gakkô

(6) おちゃ

otya(ocha)

(7) きしゃ

kisya(kisha)

(8) きょう

kyô

(9) しゃかい

syakai(shakai)

(10) ぎゅうにゅう

gyûnyû

1 ローマ字でしりとりをしましょう。

点

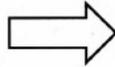


スタート!!

(10点×10問)

(1) がっき

gakki



(2) きのう

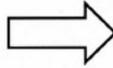
kinou

(3) うさぎ

usagi



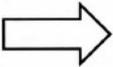
(4)



(5)



(6)



(7)



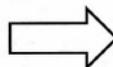
(8)



(9)



(10)



一 () () に合う言葉を下の□から選んで、
慣用句かんくを作りましょう。(10点×8問)

(1) () 歯 () がたたない …… かなわない

(2) () 鼻 () が高い …… じまんと思う

(3) () 手 () をかす …… 手伝う

(4) () 顔 () が広い …… 知り合いが多い

(5) () □ () をつぐむ …… だまってしまう

(6) () 耳 () がいたい …… 弱点をつかれてつらい

(7) () 足 () を運ぶ …… わざわざ出かける

(8) () かた () を落とす …… がっかりする

いくつかの言葉が組み合わさって、新しい意味をもつ
ようになった言葉を慣用句かんくというよ。



顔	手	鼻	歯
足	□	耳	かた

点

二 右に出てきた慣用句かんくを使った文を考えましょう。(10点×2問)

【例】足がぼつになる ↓ 山登りをしたので、足がぼつになった。

(1) (例) リレーの選手になれず、かたを落としていた。

(2) (例) テストでいい点をひいて、鼻が高い。

一 () () に合う言葉を下の口から選んで、

慣用句を作りましょう。(10点×8問)

点

(1) () 油 () を売る くだ話をして時間をすらすら

(2) () いき () をのむ おどろく

(3) 話 () 花 () がさく 会話がはずむ

(4) あとの () まつり () 手おくれ

(5) () 道草 () を食う むだな時間を使う

(6) () 馬 () が合う 気が合う

(7) () うら () にっ 顔かたちがよくにている

(8) () 雲 () をつかむ とらえどころがない

分からない慣用句は辞書で調べてみよう。



二 右に出てきた慣用句を使った文を考えましょう。(10点×2問)

【例】借りてきた猫 ↓ 弟が、借りてきた猫のようにおとなしかった。

(1) 目の前の美しい風景に、いきをのむ。

(2) 宿題をしないで遊びに行ったことをこうかいしても、あとのまつりだ。

馬	うり	油
	道草	雲
まつり	花	いき

一 組み合わせせて、元の漢字を作りましょう。(10点×8問)

【例】 門十日||間

(1) 火十田	(2) 糸十束	(3) 口十口	(4) 金十失
畑	練	回	鉄
(5) 日十立十日	(6) 日十刀十口	(7) 立十木十見	(8) 十十日十十月
暗	昭	親	朝

点

二 四角の中から二つの部分を選び、漢字を完成させましょう。(10点×2問)

目	市	カ	反
口	女	少	食
未	月	田	日

--	--



完成する漢字は、
 たくさんあるよ。
 見つけたほかの
 漢字を下に書こう。

【チャレンジしてみよう】
 省 姉 妹 胃 明
 味 男 飯
 ※まだ習っていない漢字
 冒 劣 妙 喰 如

一 組み合わせ、元の漢字を作りましょう。(10点×8問)

【例】 生十日 星

書く順番にならなくて
 とはかぎらないよ。



点

(1) 主十木 〓	(2) 言十寺 〓	(3) 口十貝 〓	(4) 口十門 〓
柱	詩	員	問
(5) ノ十土十日 〓	(6) 口十女十ム 〓	(7) 目十木十心 〓	(8) 月十一十ノ 〓
者	始	想	有

二 四角の中から二つの部分を選び、漢字を完成させましょう。(10点×2問)

土	木	言	日
十	直	者	立
豆	矢	里	反

--	--



完成する漢字は、
 たくさんあるよ。
 見つけたほかの
 漢字を下に書こう。

【チャレンジしてみよう】
 坂 板 計 短 植 暑
 音 童

※ まだ習っていない漢字
 埋 諸

一 次のことが分かっているとき、どのように漢字辞典をひきますか。
線で結びましょ。

(10点×3問)

(1) へんやうりが分かっている時

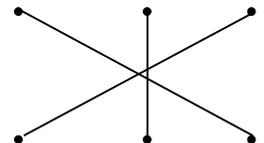
総画さへ引

(2) 漢字の読みが分かっている時

音訓さへ引

(3) 漢字の画数が分かっている時

部首さへ引



点

知らない漢字は、画数を数えて総画さへ引でひましょ。



二 この方法で漢字辞典をひくか、当てはまるものをア～カから選びましょ。

(10点×6問)

(1) 総画さへ引

イ

エ

(2) 音訓さへ引

ウ

オ

(3) 部首さへ引

ア

カ

	顔	薬	
ア	部首「へんやかんむり」	ア	部首「くさかんむり」
イ	画数が十六画	イ	画数が十八画
ウ	音読みが「ヤク」	ウ	音読みが「カク」
エ	画数が十八画	エ	画数が十六画
オ	訓読みが「かお」	オ	訓読みが「くさく」
カ	部首「おおがし」	カ	部首「くさく」

三 「帰」をひき、その漢字で始まる言葉とその意味を書きましょ。

(10点×1問)

「帰」で始まる言葉

その意味

(例) 帰たく

(例) 家に帰ると

一 国語辞典に先に出てくるじゅんに番号を書きましよう。(10点×7問)

【例】(2) はな (1) はち (3) はん

(1) (2) あさ (1) あき (3) あめ

(2) (3) かみ (1) かお (2) かさ

点

(3) (2) ふしぎ (3) ふろしき (1) ひろい

(4) (1) ホール (3) ポール (2) ボール

(5) (1) しめい (2) しめきり (3) しめなわ



(6) (2) クラス (1) くらす

(7) (2) バレー (1) バレエ

- ① 「は・ひ」(清音) せいおん
 - ② 「ば・び」(濁音) だくおん
 - ③ 「ぱ・ぴ」(半濁音) はんだくおん
- のじゅんで辞典に出てくるよ。

二 文の中で、いろいろに形をかえる言葉があります。国語辞典では、例の**投げる**のような見出し語で出ています。—— 線の言葉を見出し語になおしましょう。

(10点×3問)

【例】友だちが**投げた**ボールを、しっかりとキャッチした。

投げる

(1) かき氷が**とけて**、ジュースになった。

とける

(2) 目を**とじて**、いい音楽をきく。

とじる

(3) 今日は、星がきらきらかがやく、**しずかな**夜です。

しずか

一 次の文で、主語（「何が」「何が」「だれが」「だれは」）にあてはまる言葉をえらびましょう。(10点×4問)

【例】 お兄ちゃんが、おじいちゃんに 電話をしました。 お兄ちゃんが

(1) わたしは、校でいで、友だちと 遊んだ。 わたしは

(2) 犬が、公園で、走っていた。 犬が

(3) 花が、きれいに さいている。 花が

(4) 太陽は、東から のぼる。 太陽は

点

二 次の文で、述語（「どうする」「何だ」「どんなだ」）にあてはまる言葉をえらびましょう。(10点×4問)

【例】 きりんが、えさを 食べる。 食べる

(1) おばあさんは、夕はんの メニューを 考えた。 考えた

(2) おんがくしつ音楽室から、歌が 聞こえた。 聞こえた

(3) はりの あなは、小さい。 小さい

(4) ゾウや ライオンは、動物だ。 動物だ

三 次の文で、主語と述語をえらびましょう。(10点×2問)

(1) ぼくは、つめたい オレンジジュースを のむ。

(主語) ぼくは

(述語) のむ



主語 「何が」「何が」「だれが」「だれは」
 述語 「どうする」「何だ」「どんなだ」
 を見つけよう。

一次の漢字の——線の部分の読みがなを書きましよう。(5点×16問)

あさはやく

ちようしよく

点

(1) 今日、朝早くおきて、ゆっくり朝食をとった。

かしゆう

うた

(2) 音楽の時間に、歌集にのっている歌を歌った。

やまのぼり

ふじさん

(3) 山登りをはじめて、富士山に登った。

きようだい

おとうと

(4) わたしは、三人兄弟で、二人の弟がいる。

さんにん

みっつ

(5) 原っぱに三人で行って、四葉のクローバーを三つ見つけた。

しゃかいかけんかく

みた

(6) 社会科見学で、工場ではたらく人の様子を見た。

しきし

いろ

(7) 色紙に、いろいろな色のペンでサインを書いた。

おんどく

よんだ

(8) 音読の宿題で、教科書を読んだ。

二次の漢字の訓読みと音読みを使って、文を考えましよう。(20点×1問)

【例】高

高学年のお兄さん、お姉さんは、せが高いです。

(1) 花

【例】チューリップの花を、花だんにうえました。



漢字には
音読みと
訓読みが
あるよ

一次の漢字の——線の部分の読みがなを書きましよう。(5点×16問)

あたためる

おんど

点

(1) 体を温めるために、だんぼうの温度を上げた。

へんじ

かえした

(2) 返事が聞こえなかったので、聞き返した。

すいえい

およぐ

(3) 水泳教室に通って、速く泳ぐれん習をした。

しゅうごう

あつまって

(4) 集合時間におくれないように、広場に集まってください。

みどりいろ

りよくちや

(5) さむい日は、こい緑色の緑茶が、人気です。

しゃしん

うつった

(6) たくさんの友だちといっしょに、写真に写った。

ぜんいん

すべて

(7) クラス全員で、学校の全ての教室をそうじした。

だいこん

ねっこ

(8) 大根は、根っこを食べるやさいです。

二次の漢字の訓読みと音読みを使って、文を考えましよう。(20点×1問)

【例】高

高学年のお兄さん、お姉さんは、せが高いです。

(1) 友

【例】しん友といえる友だちが、できた。



漢字には
音読みと
訓読みが
あるよ